



市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

憲法違反の 戦争法案

力あわせて本当に止めよう！！

醍醐・桃山に「若者を戦場に送るな」のコールが響きました



7月5日に「戦争アカン！桃山南・東・醍醐アクシオン実行委員会」主催で、戦争法案に反対のパレードが行われました。小栗栖児童公園から地下鉄醍醐駅まで外環状線を歩きました。通り過ぎる車から手を振って「がんばれ！」との声や、何だろうと振り返る人など注目度はかなり高かったです。西野市議は最後まで歩き、醍醐駅でのリレートークで「戦後最長の延長国会で



も、審議がされればされるほど法案の危険性や憲法違反の内容が明らかになっていきます。憲法違反の法案は廃案しかありません。最後まで力を合わせて頑張りましょう！」と訴えました。西野市議は前日も9条の会・醍醐の皆さんと醍醐全域を訴えて回りました。

戦争反対平和がだいじなき 声をあげよう **大集会**

7月18日(土) 13時30分

円山音楽堂 14時30分パレード出発

まちづくり 委員会

市政 報告

下鴨神社マンション建設問題について、西野市議は現地視察をした結果や地域住民の学習会に参加して実感したことなどを含めて、「世界遺産は地域住民に支えられてきた歴史がある。遺産と地域とは切り離すことができない。イコモスはコミュニティを重視している。遺産を守る立場が必要だ」と求めました。



市営住宅の高齢化について、西野市議は「住宅審議会では若者の収入が減り、安価な住宅が求められているとの報告がある。子育て世代や若年層が入居しやすい制度が必要だ。」と制度の改善を提案

しました。

市営住宅の共益費の滞納問題について、西野市議は「共益費の徴収は自治会任せになっているが、滞納問題は深刻。特に自治会に加入していない世帯の滞納が目立つ。自治会に加入していない世帯については市の責任で徴収するなどの協力をすべき」と求めました。「自治会ときめ細かな相談に乗り、解決に向けて努力する」と答弁がありました。

市住の家賃滞納者の問題について、党議員が取り上げました。「家賃滞納者は他にも滞納の可能性がある。減免制度の周知や福祉事務所との連携などが必要。強制退去でホームレスになる市民を作らない努力」を求めました。答弁で強制退去が年間20件もあることがわかりました。「しっかりと連携していく」と答弁がありました。

維新の党の議員が市営住宅と府営住宅の混在は2重行政のムダと発言しました。担当局長は「2重行政とは考えていない。」と答弁しました。西野市議は「公営住宅は住まいのセーフティネット。ムダどころか役割は重要だ。市民の利便性の向上こそが必要」と反論しました。

次期京都市建築物耐震改修促進計画について、西野市議は、「今年度末に90%の目標だが目標達成はむづかしい。総括と耐震改修助成制度の見直しなど実効性ある対策が必要。」と質しました。